

勿来ゆめライト

私は、平からバイパスを利用して車で通



勤しております。暗くなつて退勤する道すがら、いつも美しくライトアップされた常磐共同火力株式会社（以下、火力）の煙突を見て、癒やしを感じておりました。勿来の出入口的なランドマークとして、火力の煙突は（発電所だけでなく）私の仕事スッチのオン・オフに最適なんです。

昨年暮れ、火力にお勤めの蛭田OR様、佐藤O様が来校し、集合煙突ライトアップの令和四年度企画担当を本校にこのお話をお願いしました。このライトアップは、ご覧になった皆さんに夢をもってもらいたいという意味の「ゆめ」さらに発電所の電気で街も皆さんの心も明るくしたいという願いを込めた「ライト」を合わせて、「勿来ゆめライト」の愛称で、近隣の学校や各種団体がそれぞれこのコンセプトで色合いを決めているとのことでした。



まずは、四月から七月までのデザイン・コンセプトを全校生から募集。四十八点の作品を火力に提出し、厳正なる審査の結果、左の生徒の作品が採用となりました、

- 卯月（四月） 一年 木内渚紗
- 皐月（五月） 二年 大畑開
- 水無月（六月） 二年 良田玲奈
- 文月（七月） 二年 高橋勇人



（ライトアップの写真は火力様よりお借りしています。）

個別支援教育

どんなコンセプトでライトアップされるかは、上のQRコードより、その月の火力用をご覧ください。通勤時間が楽しみ〜！

二十一日に開催された県議会において、



西山尚利議員より、「県立高等学校において、様々な困難を抱える生徒への支援を強化すべきと思うが、県教育委員会への考えを尋ねたい。」との質問がなされ、教育長より「九校を新年度から拠点校に指定し、不登校や発達障がい、ヤングケアラーなどの生徒の支援のため、個別支援教育コーディネーターを新たに配置して、学校と家庭や福祉等専門機関との連携を深め、総合的な相談体制や校内の指導体制の強化を図る個別支援教育に取り組むことといたしました。今後は、これらの取組により、子どもたちのSOSを着実に拾い上げ、個別に寄り添いながら、学びの機会を保障してまいります。」との答弁があり、本校が拠点校九校の一つとして指定を受けました。本校は、これまでも生徒支援部（本校独自の部署）や生徒指導部、各クラス担任がそれぞれ横の連携をとりながら、不登校、いじめ、発達障がい、ヤングケアラー、貧困、外国に訪ねる生徒等



の対応に当たってきました。

今回、個別支援教育コーディネーターを配置することで、校内の横の連携強化に加え、福祉・医療、就労支援などの外部専門機関と連携をさらに強めていくことができると考えています。

勉強するのが仕事

「学生なんだから、勉強するのが仕事だ」小中高で何度言われた言葉でしょう。高校生の頃は、お給料ももらわないのに仕事って言われてもなあと私は思っていましたけれど、それは置いておいて、今回はこちら側（教員側）のお話。

教育に関する法律はいくつかあります

が、その中にこんな条文があります。「教育公務員は、その職責を遂行するため、絶えず研究と修養に努めなければならない。」（教育公務員特例法第二十一条）。なんと、法律で研修（研究と修養）が努力義務になっているんです。勉強するのが仕事どころか法律です。

児童・生徒だった頃を思い出してみてください。教室の周りにたくさん見学の先生がいる中で授業をうけた経験がありませんか。あれも、研修の一環で行われているものなんです。

さて、写真は「その在職期間が十年に達した後相当の期間内に、個々の能力、適性等に応じて、教諭等としての資質の向上を図るために必要な事項に関する研修」（教育公務員特例法二十四条）に基づいて行われている研修の「コマ」です。両名とも、教科の指導力やミドルリーダ



ーとしての知見を深めようと真剣に取り組んでいます。法律の努力義務だから仕方ないなどという雰囲気は微塵もありません。

校歌の扁額

ちょっと高校時代を思い出してみてください。校歌ってどこに掲げられていたか。「体育館！」って即答ですね。それは、それ以外の場所に校歌ありませんでしたか。高校時代は気にもとめないのが多いと思いますが、正面玄関や昇降口に扁額してある学校が多いんです。

右の写真は本校校歌の扁額です。一般的な校歌一番は、近くの山や川の名、あるいは名所旧跡などをに入れて学校の位置特定することが多いのですが、なんと本校校歌は、「阿武隈の南のはてのこと、宮城県南部から茨城県北部間で連なる山地名から始まる雄大な歌詞です。

左の写真は、校舎をともしするくぼた校歌の扁額です。実は平成二十七年開校以来どこにも校歌が掲げられてなかった。それは変！というところで、先日掲げたばかりの新品ですが、くぼた校はいわき支援学校の分校なのですが、一般的に分校は本校と同じ校歌を歌います。分校独自の校歌というのは、県内だけでなく全国的にも珍しいんですよ。

校長のつぶやき

まもなく三月一日、卒業式。コロナ禍を吹き飛ばす晴れやかな笑顔に期待です。

（本紙中のイラストは「いいわき支援学校」WEBサイトのお借りしています。）

